

令和9年度 北海道開発予算等に関する要望



－札幌市－

令和9年度北海道開発予算等 要望方針

平素より、札幌市の地域課題への対応や地域経済の成長等、市政の推進に格別の御支援・御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

札幌市は、都市と自然が調和し、充実した都市基盤や大学等の研究機関が集積するなど、日本を代表する都市として優れたビジネス環境を有しており、その魅力を活かした土地の高度利用と都市機能の更新を進めてきております。また、北海道と連携した「GX/AI金融・資産運用特区」の活用や、地域未来戦略に基づく戦略産業クラスター等の国策との連動により、脱炭素社会の実現や新たな産業の発展・創出に向けて、投資の呼び込みや金融関連企業の誘致を図るための取組を推進するとともに、札幌の魅力や価値を発信する拠点形成により、国内外から多くの人々や企業を引き付け、更なる民間投資を呼び込むため、都心の再開発事業を進めております。

一方で、気候変動による災害の激甚化・頻発化に伴い、昨年度のような大雪をはじめとする災害時において、190万人都市の機能維持や市民の安全を確保するため、これまで以上の対策が必要となるほか、市民生活等に甚大な影響を及ぼす物価高や都市基盤の老朽化、交通ネットワーク維持に向けた担い手不足の深刻化といった、様々な課題に直面しております。

また、北海道新幹線札幌延伸の大幅な遅れにより、観光やビジネスなど様々な分野での経済波及効果の発現が先送りとなることに加え、都心の再開発事業や民間投資の機運低下につながるおそれもあり、まちづくりへの影響を抑えることが極めて重要となります。

こうした状況を克服していくため、民間の投資とノウハウを活用しながら、魅力ある都市の形成を図るとともに、都市基盤の計画的かつ効率的な維持・修繕や更新を進め、災害時にも都市活動が継続できる強靱な都市に再構築することで、今後もこの魅力あるまちを次の世代へ、さらにその先へと持続可能な形で引継ぎ、ひいては我が国及び北海道の成長・発展に貢献していくことを目指してまいります。

つきましては、北海道開発予算等により推進する札幌市の各施策を取りまとめましたので、札幌市の現状や取組等に御理解を賜り、令和9年度における施策の推進及び予算編成に際し、幅広い包括的な御支援を賜りますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

札幌市長 秋元克広

令和9年度 国費要望額 46,066百万円（対前年比 192%）

要望区分 (単位：百万円)	令和9年度 概算要望額 (A)	令和8年度 当初配分額 (B)	対前年度 増減額 (A－B)	対前年度 配分比 (A／B)	令和8年度 本要望額 (参考)
北海道開発事業費	24,247	16,208	8,039	150%	20,990
社会資本総合整備事業費	21,819	7,842	13,977	278%	13,788
総 計	46,066	24,050	22,016	192%	34,777

以下、要望区分別の内訳

社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金

道路事業	開	4,959	2,025	2,934	245%	4,644
	社	3,752	1,064	2,688	353%	3,764
河川事業	開	301	301	0	100%	301
水道・下水道事業	開	3,665	2,650	1,015	138%	3,353
都市公園・緑地等事業	開	1,259	968	292	130%	1,261
市街地整備事業	社	9,872	4,406	5,466	224%	7,362
地域住宅計画に基づく事業	開	5,085	4,271	814	119%	4,699
	社	864	449	414	192%	449
住環境整備事業	開	864	449	414	192%	449
	社	4,659	1,954	2,706	239%	2,035

補助金、その他

道路整備事業	開	2,766	1,895	870	146%	2,614
住宅対策事業	開	226	180	45	125%	200
	社	1,644	418	1,226	393%	627
水道事業	開	584	758	▲174	77%	758
下水道事業	開	379	1,256	▲877	30%	1,256
廃棄物処理事業	開	3,872	1,234	2,638	314%	1,234
国営公園等事業	開	286	220	67	130%	220
市街地整備事業	社	1,891	0	1,891	-	0

※ 表中の数字は表示単位未満で端数整理しており、これらの合計が表中の合計と一致しない場合がある。

※ 令和8年度の当初配分額に、令和7年度補正分（4,464百万円）を加えた28,514百万円を前年度とすると、対前年度比は162%である。

目次

現状と課題

都心の土地利用	1
自然災害リスクへの備え	1
都市基盤の老朽化	2

主要要望

札幌の魅力や価値を国内外に発信する拠点形成	5
災害に強い道路インフラの整備	6
持続可能な都市基盤の整備	7

要望事項
(区分別)

物流交通ネットワークの形成・道路網の整備	9
快適な生活環境の整備	9
基幹交通及び地域交通ネットワークの機能停止への対策	10
公園の魅力向上に向けた取組	11
安定したごみ処理体制の維持	11
地域交流拠点の機能向上に向けた取組	11
上下水道施設・河川における災害対策	12
暴風雪及び豪雪による交通途絶への対策	12
住環境の整備による住宅ストック形成	13
道都札幌の玄関口にふさわしい都心の開発	14

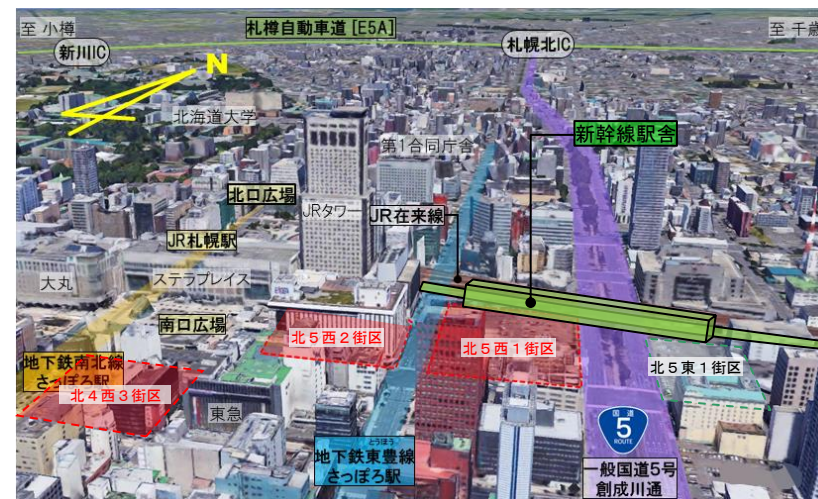
その他

社会資本整備に係る国施策に関する要望	16
要望箇所図	17
関係要望先	18

札幌市の現状と課題

都心の土地利用

- 人口減少や少子高齢化に対応した都市構造への見直しを図りつつ、「GX/AI金融・資産運用特区」の構想実現に向け、国内外から多くの来街者やビジネス機会・人材・投資等を誘引し、まちの魅力と活力を創出すべく、都市機能の集積を進める必要がある。
- また、北海道新幹線札幌延伸や民間施設の建替え動向を見据え、機会を逃さず、都心にふさわしい土地の高度利用と都市機能の更新を図る必要がある。



自然災害リスクへの備え

- 2026年1月の大雪により、市民生活に大きな影響が生じたところであるが、こうした極端な降雪や大規模地震による都市基盤への被害、集中豪雨による浸水被害・地すべり等、備えておくべき自然災害リスクは多様化しており、市民の安全と都市機能を守るため、計画的に都市全体の強靱化を図る必要がある。



西5丁目・樽川通 大雪による交通渋滞(2026.2.2)



里塚地区 大規模地震被害(2018.9)



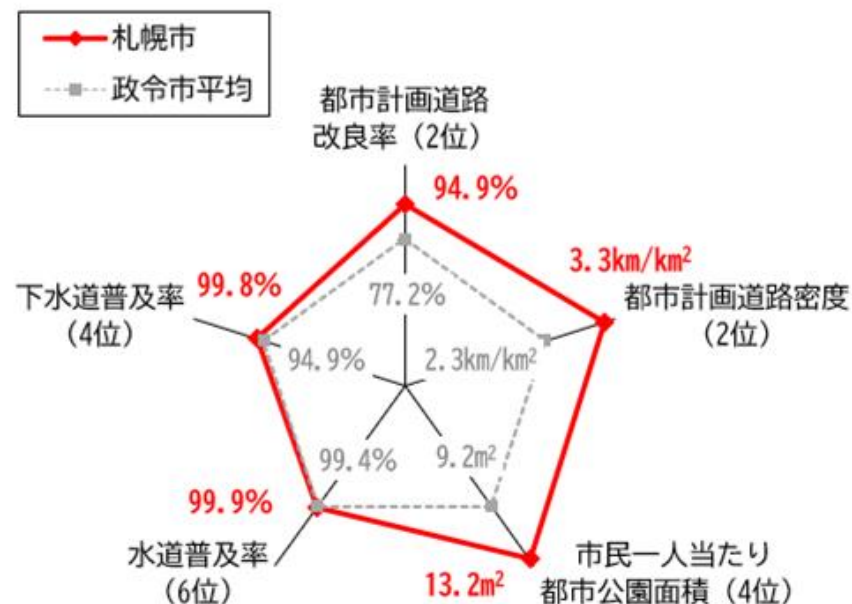
北海道手稲山地すべり防止区域(2025.2.27指定)

都市基盤の老朽化

- 1972年の冬季オリンピック開催や政令指定都市への移行を契機に急速に社会資本の整備を進めたことにより、整備水準は極めて高いが、集中的な整備から半世紀以上が経過し、道路や橋りょう、上下水道施設、公営住宅、清掃工場等の都市基盤の老朽化が進行している。
- これらの都市基盤の老朽化は、道路の陥没やライフラインの寸断、公共施設の機能停止等、市民の安全・安心な生活や経済活動に大きな影響をもたらす恐れがあるため、持続可能な都市経営に向けて、計画的な予防保全や大規模修繕・更新を着実に進める必要がある。

主な社会資本の整備状況

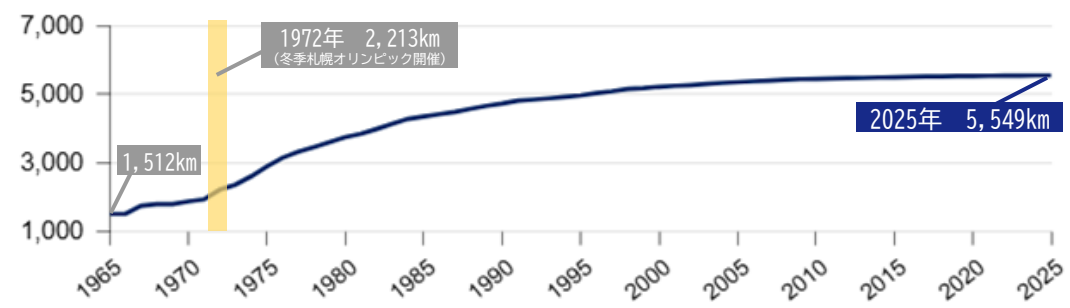
政令市の中でも高い水準



注：（ ）内の数値は政令指定都市（令和5年における全国20市）内の順位
 都市計画道路改良率＝整備済延長／計画延長
 ＜資料＞ 大都市比較統計年表（大都市統計協議会（令和5年））
 都市計画現況調査（国土交通省令和7年調査結果）

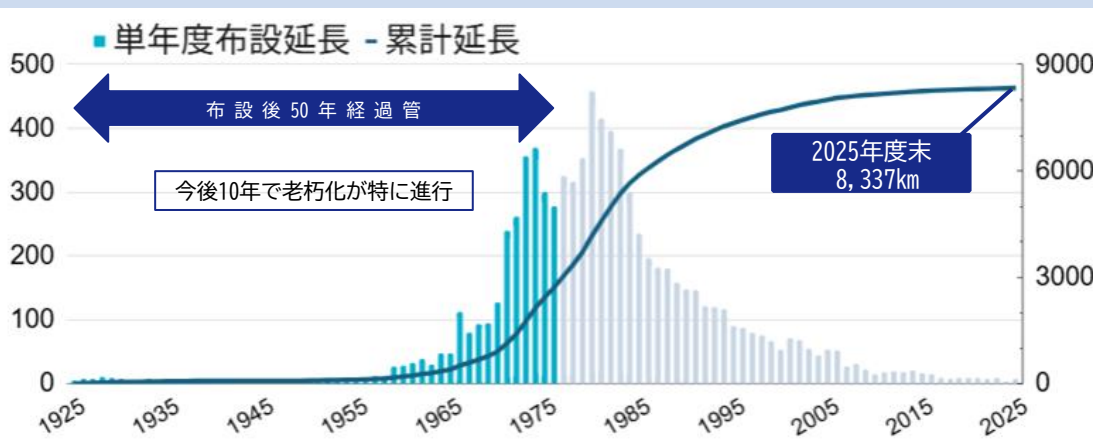
道路管理延長

1972年以降、急速に整備した道路の老朽化に対し適切な対応が必要



下水管路延長

今後、標準耐用年数（50年）を経過する管路が大幅に増加







令和9年度北海道開発予算等

— 主 要 要 望 —



北海道開発予算等 主要要望

札幌の魅力や価値を国内外に発信する拠点形成

国内外から多くの来街者やビジネス機会・人材・投資等を誘引し、札幌のビジネス・観光の国際競争力を高めるため、高機能オフィスの整備や国際水準のハイグレードホテルを誘致するとともに、脱炭素化に資する機能を整備する。

市街地再開発事業

多様なニーズに対応した国際水準ホテルや、道内外の企業を呼び込む高機能オフィスのほか、建物の省エネルギー化や、コージェネレーションシステム・地域冷暖房を利用した総合的なエネルギー効率の向上等、都市の競争力強化と持続可能なまちづくりを推進<<GX/AI金融・資産運用特区、脱炭素先行地域関連>>

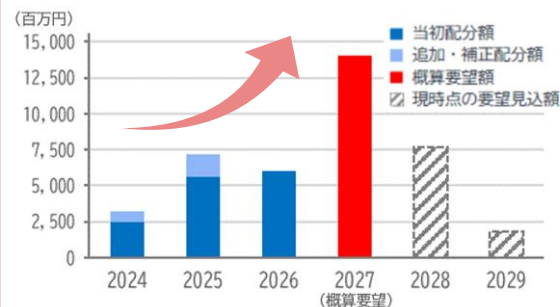


国際水準のハイグレードホテル整備、地上・地下における歩行環境の改善、帰宅困難者受け入れ施設 など

地下鉄南北線さっぽろ駅との接続等による各種交通機能の乗り換え動線強化 など

新幹線駅改札直結、CGS・DHC導入、新しいバスターミナル整備 など
➤ 札幌駅交通ターミナル整備
「都市間路線：直轄事業」

上記再開発3地区における今後の国費要望額の推移見込



工事本格化により、2027年度の国費を含む事業費全体は増加する見込み。

※北5西1・西2地区再開発事業の計画見直し中のため、2028年度以降の国費は大通西4南地区、北4西3地区の2地区分のみを計上

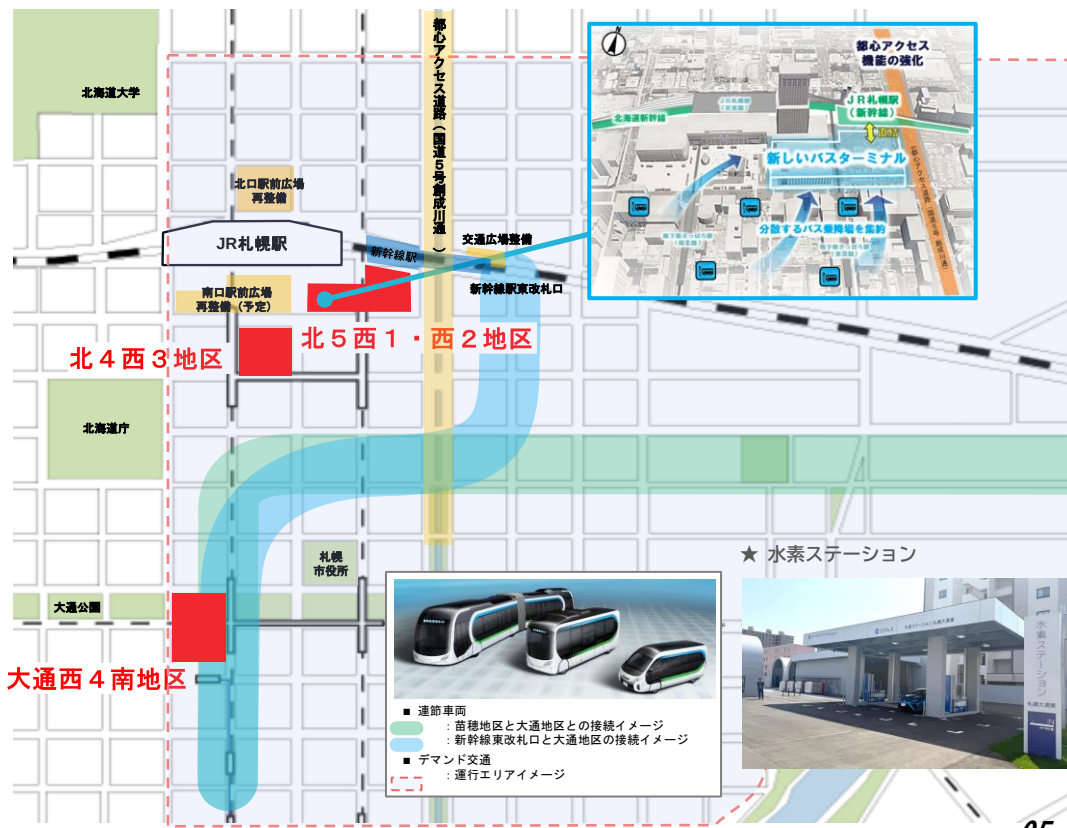
※グラフは3地区における「市街地再開発事業」「防災・省エネまちづくり緊急促進事業」の国費要望額の合計(2025年度までは当初分に追加・補正分を加えた配分額、2026年度は当初配分額まで)の推移となります。

国際競争拠点都市整備事業(北5西2地区バスターミナル整備事業)

北海道新幹線札幌駅と直結する北5西2地区バスターミナル整備事業との連携により、交通結節機能の強化を図るため、現在札幌駅の周辺に分散している市内路線バス乗降場等を集約

都市・地域交通戦略推進事業(公共交通システム検討事業)

都心の魅力と賑わいあふれるまちづくりや、移動の利便性・回遊性の向上を図るため、人や環境にやさしいLRTの利点を生かした新たな公共交通システムの導入に向け、運営体制や水素利活用等に関する検証を実施



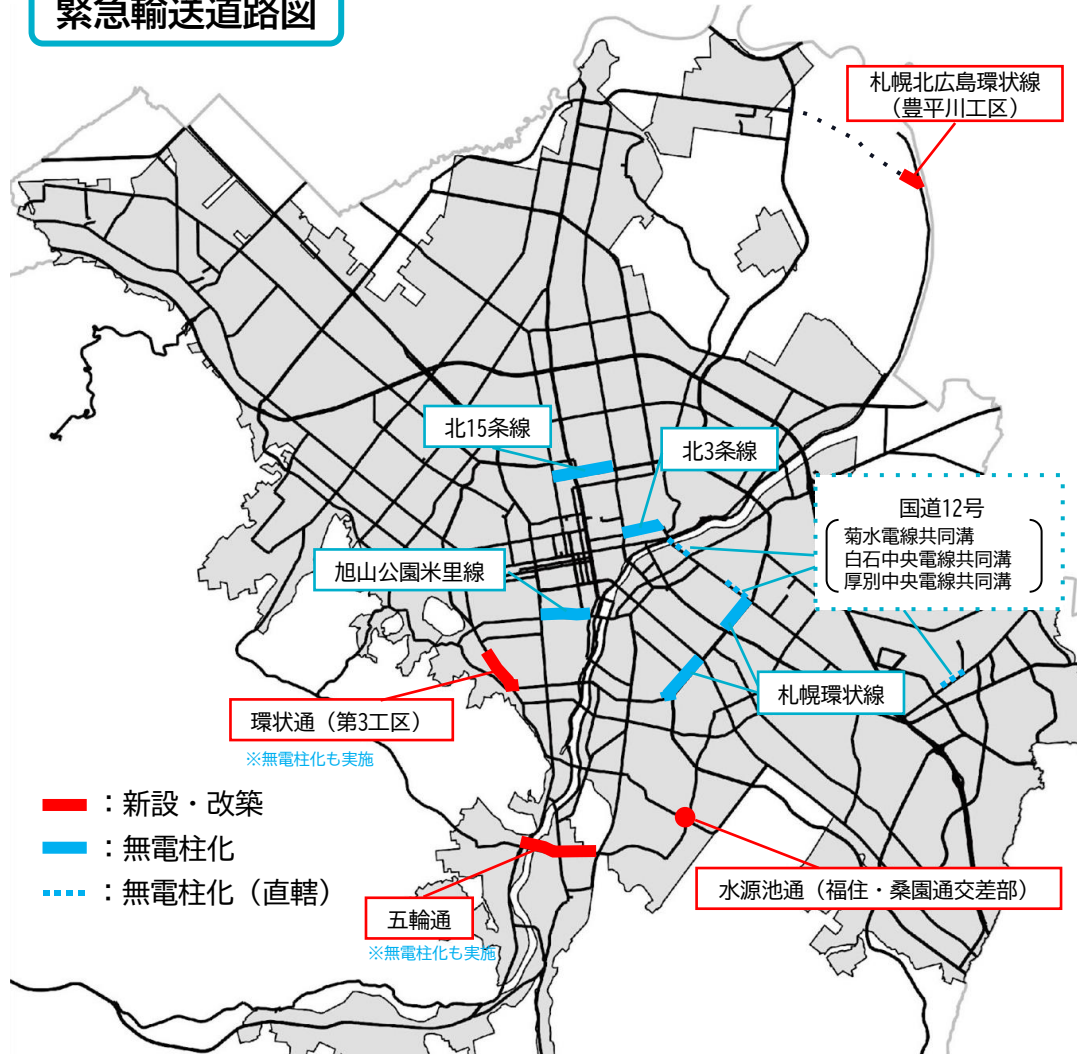
災害に強い道路インフラの整備

激甚化・頻発化する自然災害に備えた緊急輸送道路の整備や、冬期間の都市機能を維持するための雪対策事業を推進することにより、一年を通じて災害に強い道路インフラの形成を図る。

緊急輸送道路の整備

災害発生時における緊急輸送機能を確保し、ライフラインの早期復旧を図るため、道路の新設・改築や無電柱化を実施

緊急輸送道路図



雪対策事業

多雪寒冷の大都市である札幌市で、冬期間における都市機能や市民の安全な暮らしを確保するため、雪寒指定道路の適切な除排雪を実施するとともに、除雪機械の計画的な更新・増強を推進

除排雪に係る課題・取組

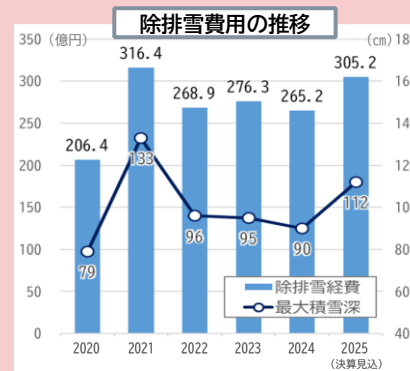
● 気象の変化

短時間で記録的な降雪をもたらす「ドカ雪」や急な暖気等、極端な気象現象が多発・激甚化しており、急激な気象の変化の対応に追われることがある。



● 除排雪費用の増加

近年の労務単価や機械損料等の上昇に加えて、雪堆積場の郊外化による運搬距離の増加等の要因も重なり、道路除排雪費用は年々増加傾向にあり、厳しい財政運営を迫られている。



<作業効率化等に向けた取組及び連携>



将来にわたり持続可能な除排雪体制を確立するため、札幌市では、AIをはじめとする先進デジタル技術の活用及びICTの導入による効率化に率先して取り組んでいるところ。また、河川敷の堆積場利用等、国との連携についても今後の継続及び強化が必要。

持続可能な都市基盤の整備

今後、インフラ施設が一齐に更新時期を迎えるにあたり、将来的な更新費用の抑制とインフラ機能の持続可能性を確保するため、道路・上下水道施設や公営住宅の計画的な維持修繕及び更新を推進する。

道路施設の維持・更新

橋りょう・トンネル等の道路施設の計画的かつ効率的な点検、補修を行うことで、安全・安心な道路環境を確保

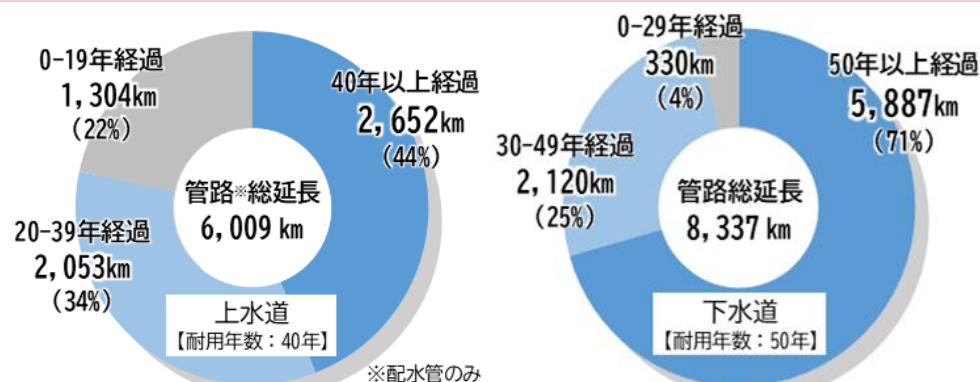


上下水道施設の改築・更新

上下水道施設の老朽化に伴う事故を未然に防ぎ、施設の機能を将来にわたり維持していくため、計画的な改築・更新を実施

10年後(2036年)の上下水道管路の老朽化状況（見込）

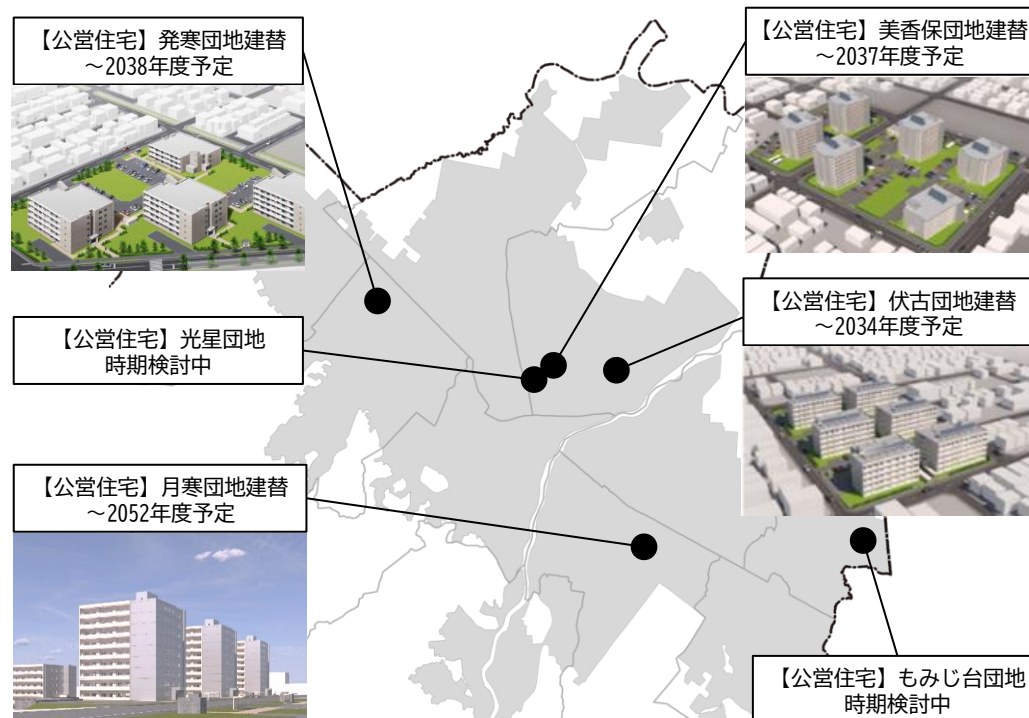
現在、老朽化している管路の大部分は国費支援の対象外となっている。今後、老朽化対策を加速化させるためには、支援対象の拡大や要件緩和が必要である。



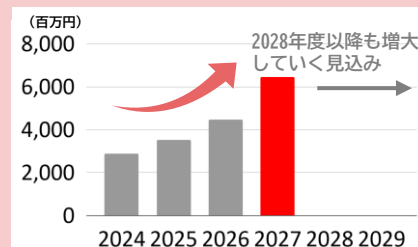
※ 2025年度決算見込値に基づき10年後(2036年)の老朽化状況を推計

既存公営住宅の建替・長寿命化

公営住宅の老朽化や居住者の高齢化が進行している状況を踏まえ、計画的な建替えや耐震改修・老朽化改善により、安全性の確保と多様な世代が快適に入居できる住棟への再生等を実施



公営住宅等に係る整備事業における国費の推移見込



建替に伴い、住棟数の見直し等を実施。今後、多数の市営住宅が更新時期を迎えるなか、建設費の高騰もあり、事業費(国費)は増大していく見込み。



令和9年度北海道開発予算等

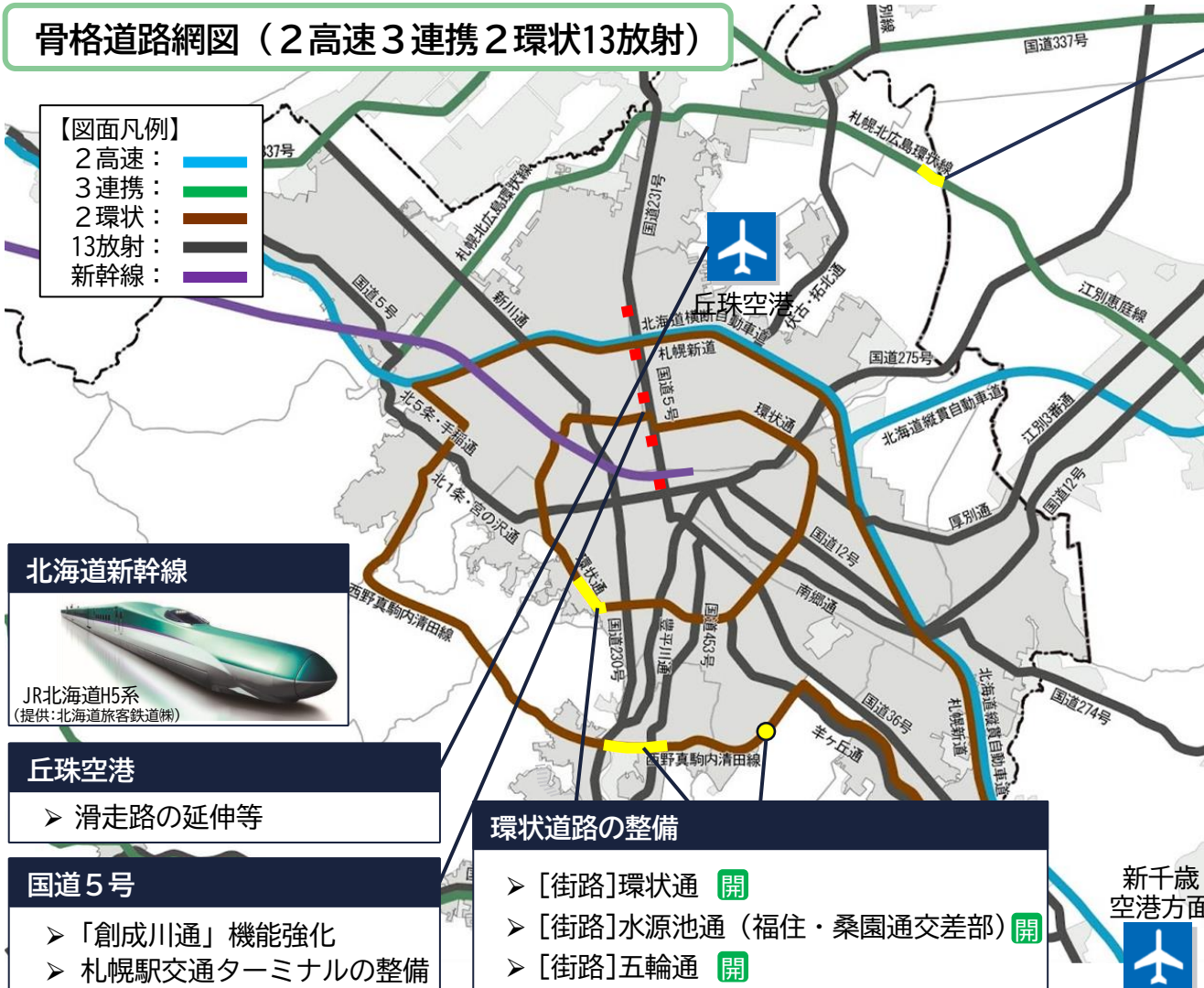
— 要 望 事 項 — (区 分 別)



物流交通ネットワークの形成・道路網の整備

北海道新幹線札幌延伸を見据えた都心へのアクセス向上や都市間・地域間連携や空港・港湾との連携強化のため、国をはじめとする関係機関との連携のもと、人流・物流を支える放射・環状等の骨格道路網の機能強化等を推進

骨格道路網図（2高速3連携2環状13放射）



連携道路の整備

- 〔道路〕札幌北広島環状線（豊平川工区）開



街路交通調査

- 道央都市圏パーソントリップ調査 開



快適な生活環境の整備

誰もが安心・安全に暮らせる生活環境の確保を目指し、利便性の向上に向けたまちづくりを推進

- 公共施設バリアフリー化推進事業 開
- 民間公共施設バリアフリー補助事業 開
- 〔道路〕交通安全施設等整備事業 開
- 〔道路〕自転車通行空間整備事業 開



基幹交通及び地域交通ネットワークの機能停止への対策

平時・災害時ともに基幹交通及び地域交通ネットワークの機能を維持するため、道路施設の適切な維持・更新や、無電柱化等による防災・減災対策を推進

道路施設の適切な維持・更新

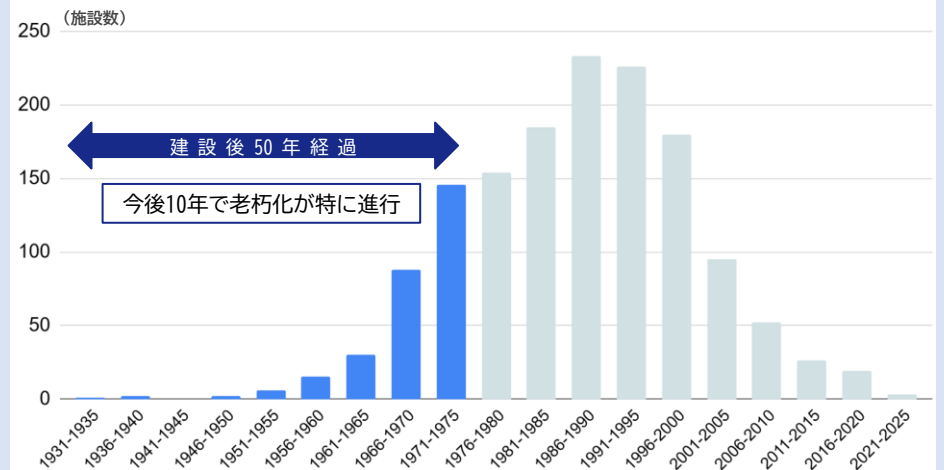
道路施設の計画的かつ効率的な点検・補修を行うことで、安全・安心な道路環境の確保に取り組む。

- [道路]小規模附属物点検調査及び補修事業（街路灯、標識） **開**
- [道路]道路構造物点検調査（橋りょう、トンネル等） **開**
- [道路]横断歩道橋補修事業 **開**
- [道路]橋りょう長寿命化修繕事業 **開**



建設年別道路施設数※

※橋りょう、トンネル、大型カルバート・シェッド、横断歩道橋、門型標識



道路施設の防災・減災対策

災害時に救急・消火及び緊急物資の輸送等の機能を確保するため、無電柱化や橋りょうの耐震補強を実施する。

- [道路・街路]無電柱化推進事業（電線共同溝整備） **開**
- [道路]橋りょう耐震補強事業 **開**



公園の魅力向上に向けた取組

公園施設の更新・改修や、地域ニーズに応じた機能再編等、公園の魅力向上と誰もが安全・安心に利用できる公園づくりに向けた取組を推進

公園機能の見直しや再整備

老朽化した公園について、地域ニーズに対応した機能分担や、利用者の安全を確保するための再整備を実施する。

- 公園施設長寿命化対策支援事業 **開**
- 都市公園ストック再編事業 **開**



整備前



整備後

大規模公園の整備

埋立完了後の最終処分場（約52ha）に大規模公園を整備する。

- 厚別山本公園 **開**

整備済箇所①
パークセンター整備済箇所②
駐車場

： 令和9年度工事区域

安定したごみ処理体制の維持

老朽化した清掃・破碎工場の更新、新たな最終処分場の造成等、持続可能で安定したごみ処理体制を確保するための取組を推進

清掃・破碎工場の更新

- 白石破碎工場更新事業 **開**
- 発寒清掃工場更新事業 **開**
- 駒岡清掃工場解体事業 **開**
- 篠路リサイクル保管庫建設事業 **開**
- 東米里西処理場造成事業 **開**
- (仮称)北部事業予定地一般廃棄物最終処分場造成事業 **開**



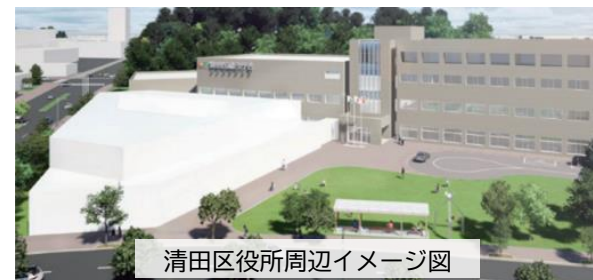
白石破碎工場更新(手前施設)イメージ図

地域交流拠点の機能向上に向けた取組

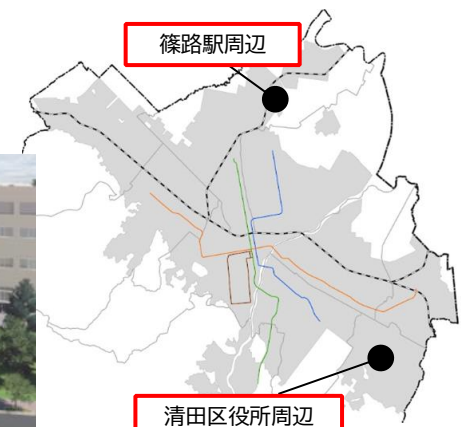
篠路駅周辺における鉄道高架化や清田区民センターの区役所周辺への移転等により、地域交流拠点の機能向上を推進

都市基盤整備や公共施設再編による拠点形成

- 新** 清田区民センター移転・整備事業
- 篠路駅周辺連続立体交差等整備事業 **開**
- 篠路駅東口土地区画整理事業



清田区役所周辺イメージ図



篠路駅周辺

清田区役所周辺

上下水道施設・河川における災害対策

大規模地震や豪雨による災害等から市民や本市を訪れる人の生命と財産を保護するため、災害に強いまちづくりを推進

上下水道施設の耐震化

浄水場や下水処理場等の施設の耐震改修を進めるほか、重要施設に接続する上下水道管路の耐震化等を実施する。

- 白川浄水場改修事業 開
- 白川第1送水管更新事業 開
- 重要施設配水管事業 開
- 災害への対応力強化 開
(地震対策)



雨水拡充管整備・河川改修による浸水被害対策

大雨による浸水被害を軽減するため、管路や河川の整備等を実施する。

- 総合流域防災事業 開
- 流域貯留浸透事業 開
- 災害への対応力強化 開
(浸水対策)



流域貯留
浸透事業

大雨前

大雨時

大雨後



公園や学校グラウンドとして利用



一時的に雨水を貯留



川や下水道へ自然排水

暴風雪及び豪雪による交通途絶への対策

冬期間の都市機能の維持や安心・安全な道路環境の実現に向け、除雪水準に基づく適切な除排雪を推進

雪対策事業

雪寒指定道路の適切な除排雪を実施するとともに、除雪機械の計画的な更新・増強、ロードヒーティング等の雪対策施設の改修を進める。

- 道路除雪事業
 - 道道除雪 開
 - 市道除雪
 - 防雪事業
- 建設機械整備事業
 - 除雪機械更新 開
 - 除雪機械増強



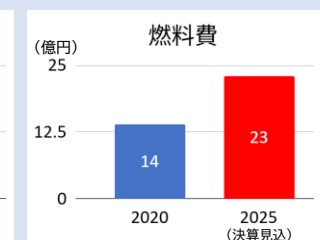
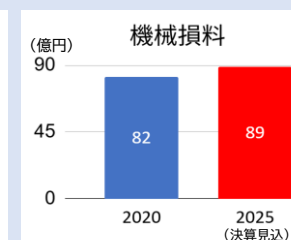
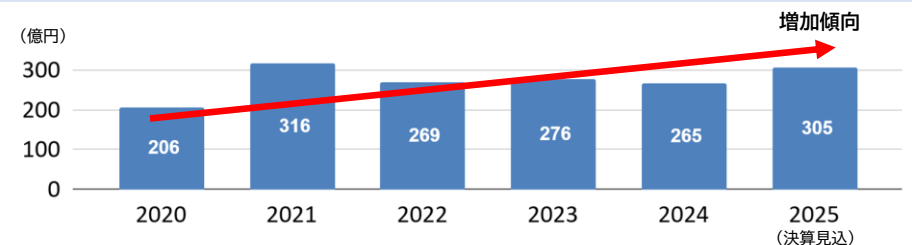
積雪による車線数減少



除雪グレーダーの更新

除排雪費用の推移

労務費等の高騰により除排雪費用が増加傾向



住環境の整備による住宅ストック形成

環境に配慮したまちづくりをすべく、省エネ性能に優れた住宅環境の整備・リフォームの普及促進を図るとともに、公共施設等の耐震化や長寿命化等により安全で良質な住宅ストックの形成を推進

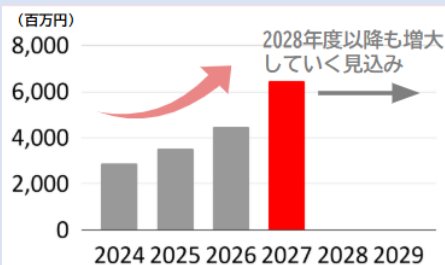
既存公営住宅の建替や長寿命化による良質な住宅ストックの形成

公営住宅の老朽化や居住者の高齢化が進行している状況を踏まえ、計画的な建替えや耐震改修・老朽化改善により、安全性の確保と多様な世代が快適に入居できる住棟への再生等を進め、良質な住宅ストックを形成する。

- 公営住宅等整備事業 開
- 公営住宅等ストック総合改善事業 開



公営住宅等に係る整備事業における国費の推移見込



建替に伴い住棟数の見直し等を実施。今後、多数の市営住宅が更新時期を迎えるなか、建設費の高騰もあり、事業費(国費)は増大していく見込み。

住環境の整備への支援

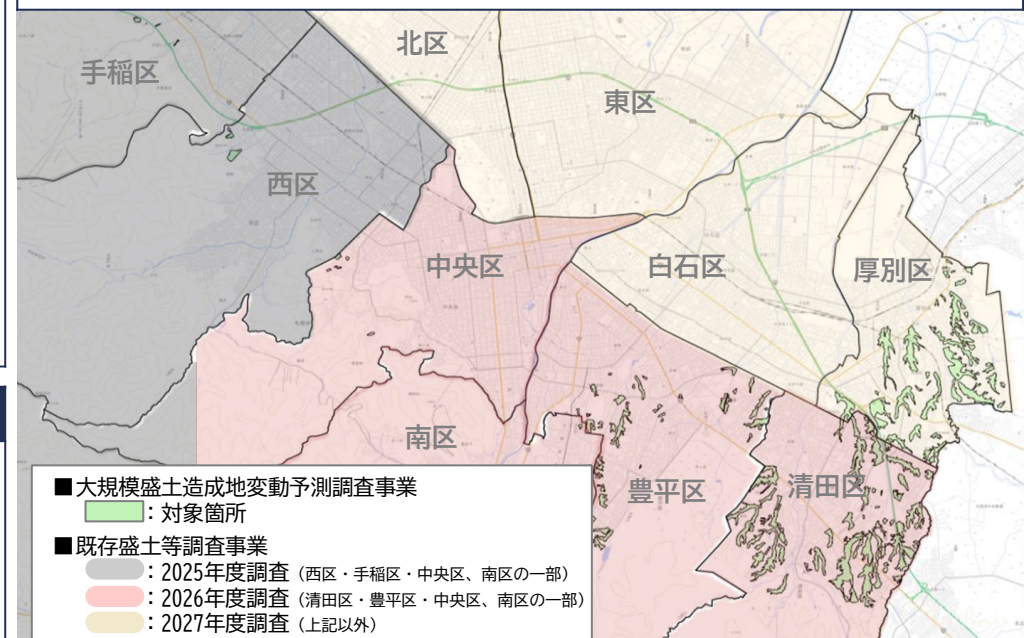
環境負荷が少なく、安全で快適な住環境の創出等を図るため、民間住宅の整備を支援する補助等を行う。

- 札幌版次世代住宅補助事業 開
- 住宅エコリフォーム促進事業 開
- 既存集合住宅外断熱改修補助事業 開
- 空き家対策総合支援事業

地震等による建築物の大規模倒壊等への対策

公共施設耐震化を推進するほか、民間建築物に対しても耐震診断や改修工事等への補助を行うなど、耐震化への取組を支援する。また、盛土造成地の安定性評価及び対策工事等を進める。

- 住宅・建築物安全ストック形成事業
 - 民間建築物耐震化促進事業 開
 - 民間建築物吹付けアスベスト対策事業 開
- 盛土・宅地防災事業
 - 宅地耐震化推進事業(大規模盛土造成地変動予測調査)
 - 都市防災総合推進事業(既存盛土等調査)



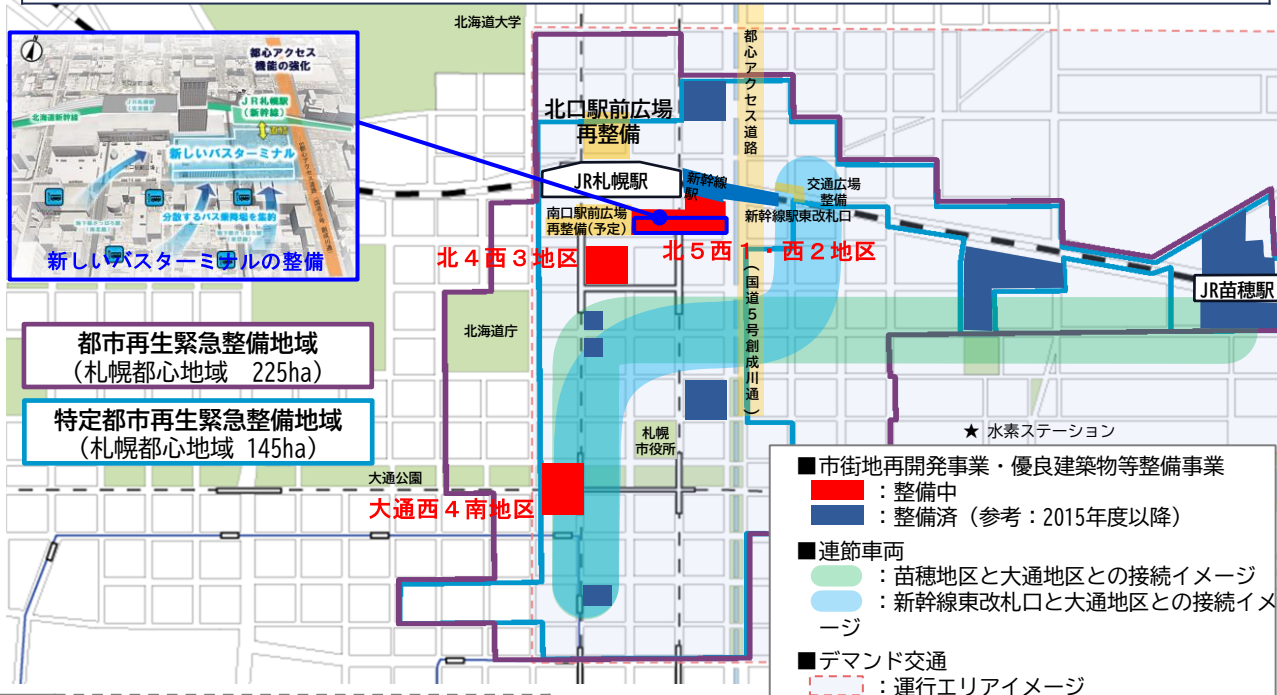
道都札幌の玄関口にふさわしい都心の開発

北海道・札幌の国際競争力をけん引する高次の都市機能の集積や、道都札幌の玄関口にふさわしい魅力あふれる都市空間の創出を図るとともに、人流・環境に配慮した交通整備を推進

市街地再開発事業

不燃化された共同建築物への建て替えと併せて、広場等のオープンスペースや公共施設の整備を一体的に行うことにより、土地の有効利用・高度利用を図り、安全で快適な街へと再生することの出来る「市街地再開発事業」と「優良建築物等整備事業」に対して、支援や相談を実施する。

	大通西4南地区	北4西3地区	北5西1・西2地区
市街地再開発事業	2024～2029 年度予定	2024～2028 年度予定	2025～2034 年度予定
防災・省エネまちづくり緊急促進事業 (地域活性化タイプ)	—	2024～2028 年度予定	2027～2034 年度予定
空き家再生等推進事業（除却） 	—	—	2025～2027 年度予定



凡例 開：北海道開発予算 新：新規事業

国際競争拠点都市整備事業

➤北5西2地区バスターミナル整備事業

乗降空間のバリアフリー化や分散する市内路線バスの集約を図り、北海道新幹線札幌駅と直結する北5西1地区バスターミナルとの一体的な交通結節点の強化を実施する。



都市・地域交通戦略推進事業

➤公共交通システム検討事業

連節車両やAIデマンド交通の運行に関する検証に加えて、乗降時や待合環境に関する検証、決済手法や情報提供といったサービスの検証、水素利活用に関する検証を実施する。



➤路面電車活用推進事業

既設線の機能向上やバリアフリーに対応した低床車両の導入等により、利便性や快適性を向上することで、まちの賑わいを創出し、沿線の活性化を推進する。

➤札幌駅北口駅前広場の歩行空間整備

交通結節点における安全で快適な歩行者動線を整備する。

※ 計画中の建物・車両等は現時点のイメージであり、今後の協議・検討により変更となる可能性があります。

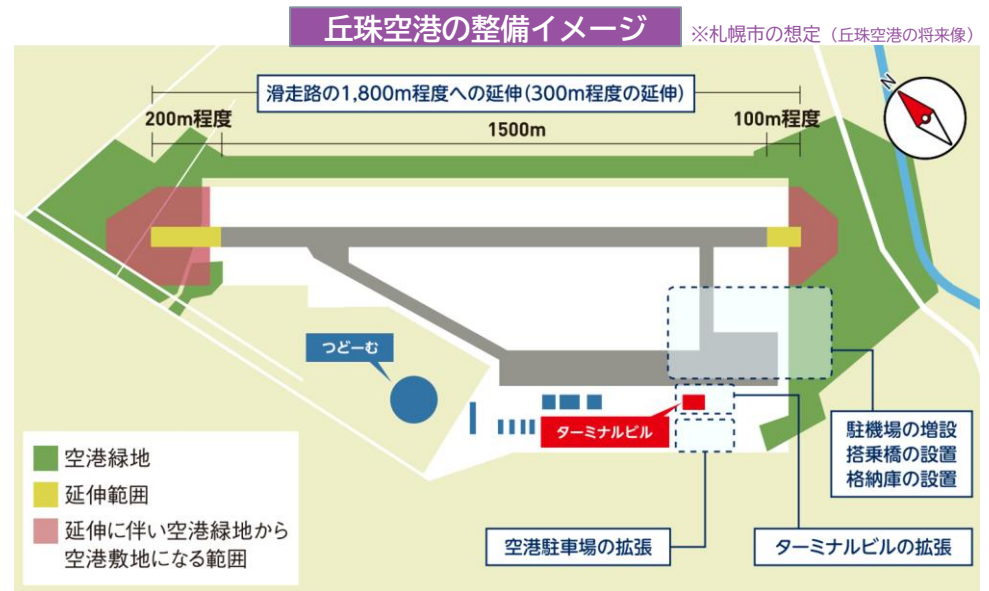


丘珠空港の将来像実現に向けた機能強化

北海道の観光・経済の活性化や防災機能の拠点として重要な丘珠空港のさらなる活用を目指し「丘珠空港の将来像」を策定。機能強化の柱となる滑走路延長によってリージョナルジェット機の通年運航が可能となり、札幌市のみならず北海道全体の発展への貢献が期待されることから、2030年供用開始に向けた事業化の調査・検討、早期事業化及び早期着工等を求める。



現 状	道内 6路線	1日最大 便	年間旅客数
	道外 7路線	50 (令和7年度)	約57万人 (令和7年度)
将来 (想定)	道内 6路線程度	1日最大 便	年間旅客数
	道外 10路線程度	70 (程度)	100万人程度



手稲山地区直轄地すべり対策事業の促進

札幌市西部に位置する手稲山の山麓部において大規模な地すべりが発生した場合、山麓部の手稲市街地や重要な交通網等に甚大な被害を及ぼすことが懸念されるため、早期の安全確保に向けた着実な事業の促進を求める。



札幌都心部とのアクセス性向上・札幌駅周辺の交通結節機能強化

都心部と高速道路間との距離が他都市に比べて遠く、特に冬季積雪時は速度低下が著しく、渋滞発生や移動時間のばらつきが大きいことから、時間信頼性や物流交通の安定性の早期向上を図るため、「国道5号 創成川通」の整備促進を求める。

また、北海道新幹線札幌開業を見据え、「国道5号 創成川通」とも連携した多様な交流を支える利便性の高い一大交通結節点を形成し、その効果を全道に波及させるため、「札幌駅交通ターミナル」の整備を求める。



北海道新幹線の札幌延伸に向けた支援

北海道新幹線の札幌延伸は道内経済活性化に貢献することから、開業時期を早急に明示し、早期完成を実現するとともに、観光や交通、都心の再開発等に対する財政支援等、開業の遅れに伴う影響を最小化するための包括的な支援と新たな地方負担を発生させない措置等を求める。

札幌中心部を流下する豊平川の治水安全度向上

近年全国的に増加している豪雨災害を踏まえ、豊平川の治水安全度向上等を目的とした河道整備等の事業の促進を求める。

令和9年度北海道開発予算等
主要事業の要望箇所図

札幌市

【河川】新川西川
総合流域防災事業

【廃棄物処理】
仮称北部事業予定地一般廃棄物
最終処分場造成事業

【道路】札幌北広島環状線

【街路】
篠路駅周辺連続立体交差等整備事業
【市街地整備】
篠路駅東口土地区画整理事業

【廃棄物処理】篠路リサイクル保管庫

【廃棄物処理】発寒清掃工場更新

【公営住宅】発寒団地

【公営住宅】美香保団地

【廃棄物処理】白石破碎工場更新

【公営住宅】伏古団地

【公営住宅】光星団地

【公園】厚別山本公園

【河川】北郷川
総合流域防災事業

【河川】厚別西川
総合流域防災事業

【公営住宅】月寒団地

【街路】環状通

【市街地整備】清田区民センター
移転・整備事業

【公営住宅】もみじ台団地

【河川】三里川
総合流域防災事業

【廃棄物処理】駒岡清掃工場解体

【水道】白川浄水場改修事業

【街路】五輪通

【街路】水源池通（福住・桑園通交差部）

都心における主要事業

J R札幌駅

新幹線駅

【市街地再開発】
北5西1・西2地区

【道路】北3条線

【市街地再開発】
大通西4南地区

【市街地再開発】
北4西3地区

【街路】東4丁目通

【街路】南1条通

都市再生
緊急整備地域

特定都市再生
緊急整備地域

凡例

- 北海道開発予算等事業箇所
- 高速交通体系（高速道路等）
- 連絡道路
- 環状道路
- 放射道路

要望区分			令和9年度 概算要望額 (百万円)	関係要望先						関連事業 掲載ページ
				国土交通省					環境省	
				北海道局	都市局	道路局	住宅局	水管理・ 国土保全 局		
社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金										
	道路事業	開	4,959	●	●	●				P6, 7, 9, 10, 11, 12
		社	3,752			●				P6, 10, 12
	河川事業	開	301	●				●		P12
	水道・下水道事業	開	3,665	●				●		P7, 12
	都市公園・緑地等事業	開	1,259	●	●					P11
	市街地整備事業	社	9,872		●					P5, 11, 13, 14
	地域住宅計画に基づく事業	開	5,085	●			●			P7, 13
	住環境整備事業	開	864	●			●			P9, 13, 14
		社	4,659				●			P5, 14
補助金、その他										
	道路整備事業	開	2,766	●	●	●				P6, 7, 9, 10, 11
	住宅対策事業	開	226	●			●			P13
		社	1,644				●			P7, 13
	水道事業	開	584	●				●		P7, 12
	下水道事業	開	379	●				●		P7, 12
	廃棄物処理事業	開	3,872	●					●	P11
	国営公園等事業	開	286	●	●					P11
	市街地整備事業	社	1,891		●					P5, 11, 14

SAPPORO

持続可能な世界都市・さっぽろの実現



札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 政策調整課

〒 060-8611 北海道札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

☎ 011-211-2206 ✉ chosei@city.sapporo.jp